

窮民聖恩に感泣す

聖上皇后陛下葉山より御還幸
一月下旬より葉山御用邸に御還幸
されたる天皇皇后陛下には十
九日東京皇居に御還幸され
たに於ては

大元帥の御軍服

大元帥陛下は御還幸に際し
大元帥御軍服に御還幸され
たに於ては

久方振の還幸

久方振陛下は御還幸に際し
久方振御軍服に御還幸され
たに於ては

本郷中將入京

本郷中將陛下は御還幸に際し
本郷中將御軍服に御還幸され
たに於ては



海軍巡回飛行中止

飛行機墜落事故の爲め
海軍巡回飛行は中止され
たに於ては

第九水雷艇隊来る

第九水雷艇隊は先鋒司令官
佐藤少佐に率ゐられて来る
に於ては

靴に忍んで太平洋を横断す

青島を逃走せる獨逸婦人の自白
靴に忍んで太平洋を横断す
に於ては

町の真中で離縁状の請求

北海道知事館に於て
町の真中で離縁状の請求
に於ては

發狂して自殺

二十一日午前中
發狂して自殺
に於ては

屍體浮び上る

仁那郡下田町
屍體浮び上る
に於ては

掛物研究

何を装飾するか
掛物研究
に於ては

物凄く幽霊書

大和表具 九表具等稱す
物凄く幽霊書
に於ては

俳優から泥棒

三越で友蔵を盗取す
俳優から泥棒
に於ては

朝鮮學生徒募集

朝鮮學生徒募集
朝鮮學生徒募集
に於ては

合併相撲スケッチ

合併相撲スケッチ
合併相撲スケッチ
に於ては

全鮮徴兵検査

全鮮徴兵検査
全鮮徴兵検査
に於ては

生活難から自殺

生活難から自殺
生活難から自殺
に於ては

重石高價購買

重石高價購買
重石高價購買
重石高價購買

貸席開店御披露

貸席開店御披露
貸席開店御披露
貸席開店御披露

落語娛樂世界

落語娛樂世界
落語娛樂世界
落語娛樂世界

金庫界の霸王

金庫界の霸王
金庫界の霸王
金庫界の霸王

水産業者の福音

水産業者の福音
水産業者の福音
水産業者の福音

朝鮮特約店 熊平支店

朝鮮特約店 熊平支店
朝鮮特約店 熊平支店
朝鮮特約店 熊平支店

安東縣魚菜市場

安東縣魚菜市場
安東縣魚菜市場
安東縣魚菜市場

吉備洋行

吉備洋行
吉備洋行
吉備洋行

東京竹内製

東京竹内製
東京竹内製
東京竹内製

ベント式金庫

ベント式金庫
ベント式金庫
ベント式金庫

水産業者の福音

水産業者の福音
水産業者の福音
水産業者の福音

朝鮮特約店 熊平支店

朝鮮特約店 熊平支店
朝鮮特約店 熊平支店
朝鮮特約店 熊平支店

安東縣魚菜市場

安東縣魚菜市場
安東縣魚菜市場
安東縣魚菜市場

吉備洋行

吉備洋行
吉備洋行
吉備洋行

射撃教練中御發熱あらせらる

A black and white portrait of a man in a naval uniform, wearing a cap with an anchor emblem. He is looking slightly to the left. The image is framed by a thick black border.

西軍省國務局長等立
ひ御診察申上げたる
十九日に至
腸窒扶斯と
診しなり御
態は二十日

滿洲の我が勢力範圍は靜穩
第十七師團長本郷中將の談

「京阪も却々盛かありますア」と、地竹官邸の
中へて我輩の意嚮を探らうとする
中へるが、我輩は總て呆然と張ら
ず、筆を置座したる將け益々肥する巨軀を
揺るがし乍ら往訪の記者となる

革命黨が侵入してゐる様に書いては

に於ては、**奉天で零下六度**の寒さで、**行機と自動車の耐寒試験は非常に成績が上つた**、其れのみならず附近の

う云ふ事になるかも知れない——
に角満洲は至極無事でお話する事

つ分今出なわかつて無
九今迄は大抵日本の勢力範囲内であつたが、
五今迄は日本に對する支那の地位が如何なるものか
三今迄は日本に對する支那の地位が如何なるものか

つ分今出なわかつて無
九今迄は大抵日本の勢力範囲内であつたが、
五今迄は日本に對する支那の地位が如何なるものか
三今迄は日本に對する支那の地位が如何なるものか

内うちに於おてはる結果けつに成なる事ことが知しれない愼重しんじゆうに要えする輕嫌けいけんに驕おごり立たてゝは如何いか

の事は兎も角だが宗社黨も革命黨も
決して我が國内では何等の事も出来
ない。今修
過の推移に注目警戒して戦後には
處すべき最善の策に就て充分
諒をして置く必要がある支那現時
の事

二十三日にの公判こうはん 烈はげ、傍聽ぼうてい人ひと袂たもとを絞しぼる

衷心慚愧に堪へず、被告林田の述懐

十二月十一日
記官長室一
白ならねど
禁止が多
其筋の取

二千圓を白川に渡し又白川は後て一
圓受取つた時に私が二千何百圓を
今年に入り新聞紙及び
其筋の取締願る限
三月迄に差押處分を受

▼政教公論第三號▼
世草紙卷の五一冊(井原
附録へ右出版物中
録せるもの)五枚▼

として此所に立たしむるに至りたる
 慚愧に堪へず若し此の罪が私一身

短歌會と屋

赤裸々附漏落女の告

て病

夫を養ふ
哀れなる鮮婦人
改めたる爲め脚が減少
縛せられし傾向なきに

認めて其の不
 を買ひ求め
 して贈しき
 の當日別席にて開會せ
 山、前川、石田、四氏小品

右は同郡楊東面全旺里呂九鉞の妻
李鳳今(三)と云ひ夫呂九鉞はかく悪人形の出品とあるべ

派員發電

▲情氣満々たる
 十日目千秋樂
 東西主なる力
 朝日洞休 瀬川
 二瀬川 鳴門洋
 大蛇湯 大達
 朝潮

勝食とうきうがた 東京方とうきうがた 有あ 若わ 休きう 施し 川かわ 西せい 風ふう 雨う 泉せん 大だい 浦うら 宮みや 宇う 都と 休きう 鳥とり 千せん 朝あさ

石の松なほ朝日山
梅若はなぢ一港
小染川休士州山 都立
五十嵐うら千葉崎
四國洋ひかり熊ヶ獄
石の内うち大達だいたつに大蛇おほへび喝か

懷雄 仕金福吳
とも明治四十年以來彼是十
の經驗したところでは先づ

に嫁したるも姑との折合悪しき
賢家に歸省中大正三年舊四月頃
ける談話中

◆一番興味深く

松都面 所有權の觀念が甚だ薄弱で
間同月三 だ自ら耕やして居り種を撒

日男兒を産んだるが父持並にゐるが故に疑ひもなく自分の面目なさに即時該嬰兒を瀕死せる信じて居つた、然るにひて寢息死に至らしめたり然る室などから

分を受く
所不定の
ある、また私の關係した事
販の右近氏が買入れた智島

古物、**城野町**一丁目古物店、**倉庫**、**東方**
にありて、古織版一個を摸つ拂ひ
要の逦査に取押へらるる

問題に達著した、幸ひ初
三年間かゝつて漸く結末を
の、右近氏は九萬圓で買つ
に對し訴訟などの費用に

◆約廿五萬圓

問記、
ある、
小作米の納入を背かなかつ
の農民は自分等の所有だ
肝心被害は内地人の

今日でも米價が騰貴するを景
 望する者がある。朝鮮は山來農業
 本位の國である
 むかしから今日
 まで左様である
 以前までは所有主の兩班に
 氣で小作米を納め來つたも
 からして更に内地人の
 實小主が買入れた

めにも幸福であるやうに思
然るに彼等は神を眞に托て

大鐘に太刀山おほかねにたちやま
 捌はくいて入いらねず突つき進しんみ荒あが左ひだり
 手て繰くつて一本背負いっぽんせおひに行いかんぞす
 後のちより突つき放はなして朝あさの勝かち
 争あらそひに負まけつたの死しに死しな
 ぬやうに思おもつた事こともある、
 眞實しんじつ農民にんみん自身みづかみが争あらそひひを好このむ
 して其そのの間彼等のうらなを煽動せんどうす
 の如ごときが介まが介まがして居ゐた爲ため

突きつけ
入宮木
突き合つ
るのが捷徑だと信ずる、然

大倉船に上り、内陸の大倉へ朝鮮の土地に投資するの間に困るなぞ、露する人がある。これでは何うに朝鮮を開拓の爲めに競争したるに、

き上げ櫓
ら投げつ
の白の峯
平等に朝鮮の幸福を冀ふ
から云へば矢張り此の邊
くく究めて貰ひたいもの

（中）

[illegible]

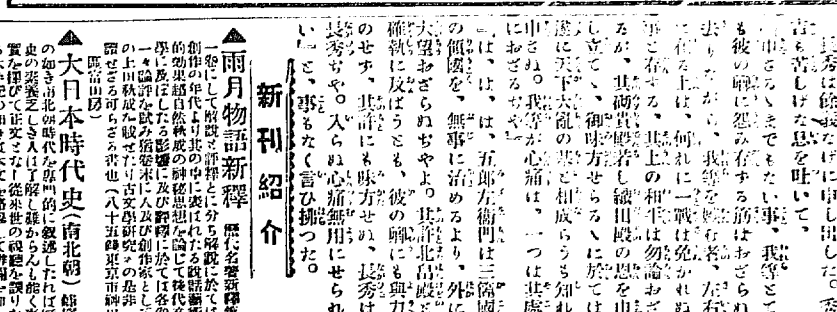
須藤南翠作
筒井年峰

秀吉が歸城して、尚寛が舟程に、年々丹羽五郎左衛門尉は、客禮として登城したのであつた。

秀吉は欲んで出迎へ、直ちに陣室に引いて、幾々丹羽脇の交換をした。其の接待より、少しの取心た。越かなく、極く釋して、更に心の措かなく、點々として、別惡な同輩が、無二の交りをする眞情の至らぬ、限なく見えたので、長秀も大に感ずり、洪歎を漏らした。

彼は一たび、拵て置いても何程かの事もないが、京師近辺土地、人心を喰はせろもの如何と信じて、急度押へさせておどろ。其よりも我等が心を標すのは、北畠殿や、秀吉は抑う言つて、堪へ難さうにみざるや。聞き及べば、佐久間、赤松、各第も、根柢とやらに身を置れて、近來旗を揚げたものと、や何ぞ代致されたのだと、徐ろに語を運めた。

彼の恥の怒りに觸れて、好まじからぬ城に、も及ばうかと、一層之れが如何様と、彼の辭、こても子君、思念、黒路を存する意ではおどろき、自いとも思ひ、定めぬ若き、其の彼の辭、當、畢竟それが爲に、宋田にも見捨てられ、作前にも言かれたや、其前にも堪忍ならぬ所かも知らず、何れを申すと婦人のやうな彼の辭、一層家を傷たするや、偏に御覽走報へ申す。



代診生皮見附有識論入用 希望
の者は 仁川京市支局に來談せしめ
仁川山手町京成日報仁川支店

●古十二本トンレール壹哩賣却計467
望みの方は下名へ電話二三〇九柴栗園
●給仕 一名採用年十八以下客室
端正正々の高小卒業者希望者に於て
四日正午出頭のこと 龍山衛戍病院 468
心得る用者 庶務掛三十三歳位簿記の
心付有る者 應請書携来該役所にて
仁川白神洋行 465

▲時計職工見習入用年十五歳以上
十八歳未満市内に確實の保証人要有
京成大通電電話二四四五向附
▲中古自轉車 只今澤田持合
南大門通三號 有價一ツツキ商會
大日本門三號 三三一〇格安

●古本買入 ▲御報參上 京城本二丁
電話八六五 森田文光堂書店
番外(一) 匿名一冊附(金銀貨幣)
鑄區測量 製圖 出張手續並建築
製圖及監督 土木建築設計測量
旭町一二丁目 電話一〇七八 475

裁縫男子男女を問はね年齡十五六
位の者入用希望者は至急申込めら
京成旭町三丁目 74
三橋吳服店專屬 長谷川裁縫部

●全部空氣輪揃 同じ資金で 乘心地の良い空氣
四七三七三 進組車帳箱

明治町

1000

[illegible]



油 香 最

— (印 ク ハ キ) —

茂 牧

○ 油頭 八
○ 山浦 三
○ 山浦 三
○ 山浦 三

大 阪 商 船 出 帆

○ 大連 太沽 牛莊行
○ 三河 四月十日 正午出帆
○ 高砂 四月十日 正午出帆
○ 釜山 四月十日 正午出帆
○ 釜山 四月十日 正午出帆

金 景 園 自 動 車 時 間 表

○ 金景園 自動車 時間表
○ 金景園 自動車 時間表
○ 金景園 自動車 時間表

三女花子葬送

○ 三女花子葬送
○ 三女花子葬送
○ 三女花子葬送

1997年12月

[illegible]

三〇 金剛成體上融全

[illegible]

共同汽船出帆

大連行
三月廿六日接二時入
三月廿八日午前九時出
大連行 三月廿八日午後二時入
三月廿九日午前九時出
大連行 三月廿九日午後二時入
三月三十日午前九時出

元山出帆

元山行
三月廿六日接二時入
三月廿八日午前九時出
元山行 三月廿八日午後二時入
三月三十日午前九時出

汽船釜山出帆廣告

大連行
三月廿六日接二時入
三月廿八日午前九時出
大連行 三月廿八日午後二時入
三月三十日午前九時出

尼崎汽船出帆

大連行
三月廿六日接二時入
三月廿八日午前九時出
大連行 三月廿八日午後二時入
三月三十日午前九時出

大坂屋號書店

大連行
三月廿六日接二時入
三月廿八日午前九時出
大連行 三月廿八日午後二時入
三月三十日午前九時出

三女花子葬送

大連行
三月廿六日接二時入
三月廿八日午前九時出
大連行 三月廿八日午後二時入
三月三十日午前九時出

併合前後の教育狀況ニ朝鮮教育令實施の效果ニ官公立學校と私立學校

教育機關として京城に成均館、
府縣中の四學あり、府縣に郷校あり、
里に書房あり、主として經學を講ずるに止りしが、明治二十八年壬辰の改革を行ふと共に、新舊に教育制度を樹立したしも其の内に於て日本の法令を倣したるも容に全く日本の法令を倣したるものにして、時勢民度に適せず、又當に應酬せしむる所を以て直に生活の實際に應用せしめ、實用に違からざらしめたる一事は新制度の制定に當り最も注意が注がれたる所に於て、實風に際しては各種教育機關の施設、職員に任命權極めて迅速に行はれ、爾來著々進歩して今日に及べり。

結合と共に學部に日本
 以て教育行政の樞機
 同三十九年統監府
 普通學校なり。併合の事あるや
 併合後諸般教育の發達著しきが中
 にも特に長足の進歩を遂げたるは公

教育費せられ伊藤統任に就く、其の指導の下に、銳意教育の刷新を圖り、法令の整備、學校の新設等、著々其の歩を進め、内地人教員の配置、教科書の編纂等に至るまで形式内容共に舊態を一變し、普通教育、實業教育は勿論、専科専門教育の如きも年々擴張されて以て、併合當時に及べり。

併合後の狀況

先帝陛下は授產、教育及び肉體救済の旨に充つるが爲め、臨時恩賜金一千七百餘萬圓を下賜あらせられしを以て、總督府にて慎重審議の結果、其の利子の五分の一、五を教育特に普通教育の資に充つることゝ爲し、地方當局と交渉して公立普通學校の増設を計畫し、恩賜金利子を基礎として之に國庫及び地方費の補助、學校財産の收入、其の他種々の收入を合

八月韓國が日本帝國にして、當該學校の増設を圖りしかば併合當時の學校數は各道を通じて一

百核を窮するに過ぎざりしもの。四十年度に於ては一百三十四校を越え、大正元年度には更に一百七校の増設あり。

を定むるの必要あるを
を行はず、併合に伴ふ
土の各府郡に於て京城府の十校は姑

校外の改廢屬すの外知に舊制を有
 したるに斯くて併合後大に教育制
 度の調査研究を進め一面諸般教育機
 關の刷新擴張を圖り、其の内容を
 當り四部以上に達せしは實に長足

く別とするも多きは五校少きも一校
 の當該學校を見ざるものなきに至り
 校數に於て將な兒童數に於ても併合

同年十月關係諸法規
同年十一月一日を
數約二千を算す、是等は全く普通學

教育令の實施せらるるや、寺内總督
 は特に諭告及び訓令を發し、法令の
 精神を明かにして其の依るべき所を
 示すべしと云ふ。

校規則に依り經營するものにして設
 立者の一私人たるの外別に公立普通
 學校と擇ぶ所なし、併合常年度より
 大正四年度に至る公立普通學校設置

の實施	前述の如く	年度	學級	見	女	數	職員	學級
八月公布せられたる朝		四三年	二五三	一四	四六	五五	五五	五五
		四四年	二五三	一四	四六	五五	五五	五五
		四五年	二五三	一四	四六	五五	五五	五五
		四六年	二五三	一四	四六	五五	五五	五五
		四七年	二五三	一四	四六	五五	五五	五五
		四八年	二五三	一四	四六	五五	五五	五五
		四九年	二五三	一四	四六	五五	五五	五五
		五〇年	二五三	一四	四六	五五	五五	五五
		五一年	二五三	一四	四六	五五	五五	五五
		五二年	二五三	一四	四六	五五	五五	五五
		五三年	二五三	一四	四六	五五	五五	五五
		五四年	二五三	一四	四六	五五	五五	五五
		五五年	二五三	一四	四六	五五	五五	五五
		五六年	二五三	一四	四六	五五	五五	五五
		五七年	二五三	一四	四六	五五	五五	五五
		五八年	二五三	一四	四六	五五	五五	五五
		五九年	二五三	一四	四六	五五	五五	五五
		六〇年	二五三	一四	四六	五五	五五	五五
		六一年	二五三	一四	四六	五五	五五	五五
		六二年	二五三	一四	四六	五五	五五	五五
		六三年	二五三	一四	四六	五五	五五	五五
		六四年	二五三	一四	四六	五五	五五	五五
		六五年	二五三	一四	四六	五五	五五	五五
		六六年	二五三	一四	四六	五五	五五	五五
		六七年	二五三	一四	四六	五五	五五	五五
		六八年	二五三	一四	四六	五五	五五	五五
		六九年	二五三	一四	四六	五五	五五	五五
		七〇年	二五三	一四	四六	五五	五五	五五
		七一年	二五三	一四	四六	五五	五五	五五
		七二年	二五三	一四	四六	五五	五五	五五
		七三年	二五三	一四	四六	五五	五五	五五
		七四年	二五三	一四	四六	五五	五五	五五
		七五年	二五三	一四	四六	五五	五五	五五
		七六年	二五三	一四	四六	五五	五五	五五
		七七年	二五三	一四	四六	五五	五五	五五
		七八年	二五三	一四	四六	五五	五五	五五
		七九年	二五三	一四	四六	五五	五五	五五
		八〇年	二五三	一四	四六	五五	五五	五五
		八一年	二五三	一四	四六	五五	五五	五五
		八二年	二五三	一四	四六	五五	五五	五五
		八三年	二五三	一四	四六	五五	五五	五五
		八四年	二五三	一四	四六	五五	五五	五五
		八五年	二五三	一四	四六	五五	五五	五五
		八六年	二五三	一四	四六	五五	五五	五五
		八七年	二五三	一四	四六	五五	五五	五五
		八八年	二五三	一四	四六	五五	五五	五五
		八九年	二五三	一四	四六	五五	五五	五五
		九〇年	二五三	一四	四六	五五	五五	五五
		九一年	二五三	一四	四六	五五	五五	五五
		九二年	二五三	一四	四六	五五	五五	五五
		九三年	二五三	一四	四六	五五	五五	五五
		九四年	二五三	一四	四六	五五	五五	五五
		九五年	二五三	一四	四六	五五	五五	五五
		九六年	二五三	一四	四六	五五	五五	五五

[illegible]

正し、特に朝鮮の現状高等普通學校にして官立に屬するものは現在京城及び平壤に各一校あり

其の起原は多く宗教の宣布に
 傍ら子弟教育の爲に設置したるに始
 るを認めたるに由る、爾來同
 教れも年を返うて入學志望者を

加し今や募集人員に難保するの状あり、其の以て近き將來に於て之を増せざるを得ざる運命に處するものなり。

右の外私人の經營に在るものにして京城に男團法人養正高等普通學堂あり、星南興に成興高等普通學堂あり、共に内地人教員を僱用し相の成績を挙げつゝあり。

女子普通學校

女子普通學校は、明治十二年に設立せられ、同三十三年頃より漸次設立せられ、同三十八年日韓條約の締結に次ぎ統監府設置前後に於ては都鄙並に私立學校の設立を見、其の數殆んど數千に上りしが多くは基礎確實ならず、教問其の人を得ず、教科書亦不適當ならずして、學校たるの實を果さざるもの極めて稀なる状態なりきりたるものあり。

高等普通學校は、近時女子教育の必要として、女子校を受け入れた。また、普通學校は舊立津城高等女子學校の組織を變更したるもの、平塚女子校監督の必要に當り、明治四十一年の私立學校令を發布し、總ての私立學校

に在り、大正三年度に於て新に設置したるものなり。以上二校は女子高等普通學校の外京城に私立淑明女子高等普通學校、私立聖明女子高等普通學校あり。其の創立以來七年餘の歳を閱じ、少ながらざる財産を相當するを以て近時外人に爲し、相當資格ある内地人教員を僱聘し成積を見るべきものあり。

實業教育

實業教育は學子の大衆化に伴へるが故に、大正三年五月に至りては一、千二百餘校に減少すると共に、一面は之を指導監督に一層力を用ひ、本

係るもの農業學校十五、商業學校
 ありの學校は創立日尚淺く
 是等の學校は創立日尚淺く
 應じて地方人民の歡迎する
 私立學校の教科課程は何れも
 教育を爲す學校の規則に準じて
 定めた

爲り各地産業の開發に資する所
からして、生計救済の狀況一般に良
從來朝鮮の學に嫌惡せ
られたり。

に八年卒業者にして相當の商人、
 關法人善隣商業學校より創立以來
 私立の實業學校にありては
 育の成績を見るに、五年の星霜長き
 にあらずとも、此の間教育事業の進

れる者多く成績頗る良好なり。
易實業學校は目下六十四校にして
の農家に屬するもの五十三、商業
に上り、一百を數へし公立普通學校
は四百に達し、僅に十數校を算せし

水産に屬するものは、外は總て公立
通學校に附設し、職員亦多くは公
立通學校より兼務し簡易卓定なる
餘國に過ぎざりし郷校財産收入は今
や約二十萬圓に上り、公私立學校

業教育を授く。此の程の學校は最も
悉しく増加し成績亦見るべきも
あり。

校林は一千餘歩より八千餘歩に
進み、小學校及び普通學校の總
實習地の十町歩許なりしもの今日一
百四十五町歩を示すが如き、何れも

之を實施するの域に達せず只今日
の性質及び程度に於て専門學校に
して最も喜ぶべき現象なりとす。

優あまに世せ界かい的てきなり

品質本位花王石鹼の品質に就ては既に業に現代諸博士大家の嚴密なる實驗を経て、帝國陸海軍、帝國大學、赤十字病院其他の御採用を蒙るといふ確實なる保證があります。其の價格が舶來品のタツタ十分一位に止まるといふ譯は、左の五に基因するものです。

- 香料は内國産を用ひ裝飾に贅費を掛ぬこと
我が國一般の生産費が外國より廉いこと
特に舶來品に比し關稅及び運賃を要せぬこと
産額が多い爲め原料を一時に多く仕入れるの
で原價が廉くなること
副業として石鹼の廢液より多量のグリセリンを
採取して販賣する爲め從て石鹼の價格を輕減すること

業は經濟上不可能のもです
之を以て世界的廉價の良品となり産額が増大すればする程生産費に餘裕を生じ、原料の精選と品質の改善に努力して逐次循環的の進歩を見るのですから花王石鹼の御使用は畢竟需用者の利益なることを御承知の上多々益々御愛用あらんことを懇望致します。

花王石鹼製造元
東京馬喰町
長瀬商會
關西代理店
大阪安土町
大崎組商會

祝三千万號紀念

かつけ新薬

許特賣專府政獨米英日

アンチペリベリン

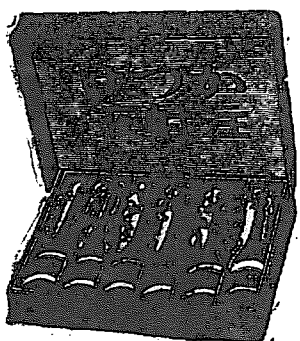
かつけ患者及

臨牀醫家に急告

陸軍一等軍醫正下クトル 都築甚之助氏發見

アンチペリベリン療法の世に行はれてより既に五年有餘之が需用は年一年と其の勢を加へ大正四年中の消費量注射液のみを以てして實に十萬筒を超過するに至れり救助せられたる生靈の數亦之に準じて大ならざるを得ざるなり彼の机上の空論家此の長歲月の間果して何の爲せし所がある人動物の脚氣は同一なりや否や脚氣と白米病との異同は如何思ふに寸時も進歩を廢せざる現世の要求は到底此の悠長なる解決を待つ能はざるべし若し講すべきの點ならば何ぞ起つて我がアンチペリベリン療法を打破せざる是寧ろ爲すなきに勝るべし而も實驗と事實の上に立つ我がアンチペリベリン療法の議論に由り打破せらるべきものにあらざるを如何せん乞ふ全國四萬の臨床家嘗つて實益なき空論家の爲に倣ふことなかれ

治驗集送呈
郵券貳錢



定價	
粉末 百瓦入	金壹圓
同 半瓦入	金伍圓
同 壹瓦入	金貳圓
注射液 六箇入	金壹圓
同 三箇入	金伍圓
同 一箇入	金貳圓
同 五箇入	金壹圓
同 二箇入	金伍圓
同 一箇入	金貳圓
同 五箇入	金壹圓
同 二箇入	金伍圓
同 一箇入	金貳圓
同 五箇入	金壹圓
同 二箇入	金伍圓
同 一箇入	金貳圓

發賣元 東京市麻布區斧町 振替東京七八五〇 南信堂藥局
出張所 大阪市東區伏見町 堺筋三越の南隣り 南信堂
特約店 京城市本町二丁目 電話九三八番 木下不老堂

萬人羨望の的とは

蝶矢印

シャツ

着た人の謂!

着て心持善く

又持も善く

洵に天下一品の

稱ある所以なり!!

左ればシャツを御求めの節は

必ず蝶矢印と御指名あれ!!!

(附言) 潮谷工場は名實共に日本一の設備を有する事を

蝶矢印シャツの製造發賣元

株式潮谷商會大阪支店



全國到處
特約販賣店あり

本社 東京日本橋區橋町
支店 蘭領ジャバスマラン
支店 蘭領ジャバスマラン
第一工場 東京市向島
第二工場 大阪市市岡

